

ご使用前に必ずお読みください。
 お買い上げいただき、ありがとうございます。
 ●必ず、ご使用前に本取扱説明書/保証書をお読み下さい。
 ●本取扱説明書/保証書はお手元に保管して下さい。

T-601 取扱説明書

製品仕様
 ■精度：平均月差±30秒以内（常温での使用時）
 （電波時計による時刻修正を行わない場合）
 ■表示精度：±1秒以内（電波受信による時刻修正の直後）
 ■アラーム精度：±5分（設定した時刻に対して）
 ■使用温度範囲：0℃～+40℃
 ■使用電池：単3形アルカリ乾電池(LR6)3個（推奨）
 ■電池寿命：約1年（単3形アルカリ乾電池を使用して、1日にアラームを30秒、ライトを1回使用した場合）
 ■受信電波：標準電波JY, 周波数：40kHz/60kHz(自動選局)

※充電式電池やオキシライド乾電池には対応しておりません。機械に不具合が起きる可能性がありますので、使用しないで下さい。
 ※付属の電池は、工場出荷時に付けられたモニター用電池ですので製品仕様の表示より寿命が短い場合があります。（モニター用電池とは、時計の機能や性能をチェックするための電池のことです。そのため付属の電池は保証の対象外です。）

●本取扱説明の内容は改良のため、予告なく変更する場合があります。●印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。●本製品によって生じたいかなる支出・損益・その他の損失に対してはなんら責任を負いません。●本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

保証書
GUARANTEE

お買上げ後1年間の保証期間内に取扱説明書にそった正常な使用状態で万一故障した場合には、無料で修理・調整いたします。製品と本保証書をご持参・ご提示の上、お買上げ店にご依頼下さい。尚、本保証書の発行によりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

商品名 または 型番	* 個装箱に記載されている[型番]を記入して下さい。
保証期	この保証書は、複製のため、ご利用できません。
お買上げ	
販売店	

販売店名、同印、お買上げ日の記入の無いものは無効です。本保証書は再発行いたしませんので大切に保管して下さい。本保証書は日本国内のみ有効です。
 (This guarantee is valid only in Japan.)

発売元 **ノア精密株式会社**

本社：〒111-0042 東京都台東区寿 1-6-7 ユーハイツ伸光3階

T601-1109

△ 注意と警告 安全にご使用いただくために下記の注意事項を必ず守って下さい。

ご使用上の注意

⊗ **禁止** ●分解・改造をしないで下さい。
 △ **注意** △ **警告** ●強いショックを与えないで下さい。●次のような場所での使用、保管はしないで下さい。◆温度が0℃以下、または+40℃以上になる場所◆浴室など、湿気が多い場所◆直射日光などの強い紫外線が当たる場所◆強い磁気のある場所◆振動の激しい場所◆工場、台所など、油分の多く発生する場所◆温泉場など、ガスの発生する場所●静電気の影響により、誤った表示をしたり、電子部品が破損する場合があります。

電池について

⊗ **禁止** ●ショート・分解・加熱・火に入れるなどしないで下さい。●付属の電池は充電式ではありません。絶対に充電しないで下さい。●＋と－を逆に入れて下さい。●電池に直接ハンダ付けしないで下さい。

△ **注意** △ **警告** ●寿命の切れた電池はすぐに電池ホルダからはずして下さい。●長期間機器を使用しない場合は機器から電池をはずして下さい。●電池が液漏れした場合は、液に触れないで下さい。●電池から漏れた液が皮膚や衣服に付着した場合はケガの恐れがあるので、すぐに水で洗い流し、医師に相談して下さい。●電池が液漏れした場合は、目に入ったときは失明などの恐れがあるので、すぐにきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けて下さい。●電池は幼児の手の届かない場所に保管して下さい。万一、飲み込んだ場合は医師に相談して下さい。●電池ホルダが機能別に分かれていて2個以上の電池を使用する場合は、違う種類の電池(アルカリとマンガン等)や、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないで下さい。●電池を廃棄、または保存する場合はテープなどで絶縁して下さい。他の金属や電池と接触して発火・破裂の恐れがあります。

保証・アフターサービスについて

●電池は保証の対象外です。保証期間内でも有料となります。
 ●保証の内容については左記保証書をご覧ください。
 ●保証書は日本国内のみ有効です。アフターサービスは海外ではできません。
 ●次のような場合には保証期間内でも有料修理になりますのでご注意ください。
 ◆本保証書の提示がない場合
 ◆本保証書に販売店およびお買上げ日の記載がない場合
 ◆誤った使用、不注意、不当な修理により生じた故障・損傷
 ◆改造または分解により生じた故障・損傷
 ◆火災や天災地災による故障・損傷
 ◆ご使用中に生じた傷など外観上の変化、損傷
 ●保証期間中・期間経過後とも、修理品はお客様がお買上げ店にお持ちいただきます。修理を依頼される場合はお買上げ店にご持参下さい。
 ●修理・調整にあたって、部品・付属品などについては、一部代替部品を使用させていただくことがあります。
 ●ご贈答・転居などにより、お買上げ店での保証が受けられない場合は下記のノア精密株式会社サービスセンターまでご相談下さい。
 ●修理品をお持ち込み・ご送付される場合の運賃、諸掛り費用はお客様にてご負担願います。

ノア精密株式会社 サービスセンター
 〒340-0002 埼玉県草加市青柳 6-46-1
 TEL:048-933-4080

受付時間：月曜日～金曜日(土・日曜日、祝日、年末年始を除く)
 午前10:00～午後12:00、午後1:00～午後5:00
 ※住所、電話番号、受付時間などは、都合により変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

電波時計について

電波時計とは、標準電波を受信して、自動で時刻を修正する機能を持った時計です。時刻修正をするまではクォーツ精度での運針をします。

標準電波について

日本標準時の時刻情報をのせた標準電波は、独立行政法人の情報通信研究機構(NICT)によって運用されています。標準電波の時刻情報はセシウム原子時計により、およそ10万年に1秒の誤差という精度を保っています。標準電波送信所は福島県と九州の2カ所あり、福島局は40kHz、九州局は60kHzの周波数で標準電波を送信しています。各送信所からの受信範囲の目安は、おおむね半径1000kmとされています。



送信所の設備点検や落雷などの影響により停波(送信停止)する場合があります。停波に関する情報や、標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「原子周波数標準グループ」を参照して下さい。

通信研究機構 ホームページアドレス
<http://jy.nict.go.jp>

2004年4月現在

電波受信について

電波時計はラジオと同じように電波を受信して機能します。以下のような条件では電波受信が困難ですので、このような場所を避けて使用して下さい。

- ◆鉄筋、鉄骨の建物の中や地下（ただし、窓際は比較的信受しやすくなります）
- ◆山、ビルなどの電波をさえぎるものの近く
- ◆高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
- ◆自動車、電車、飛行機などの中（特に移動中は電波障害が起きやすくなります）
- ◆空港、交通量の多い道路の近く工事現場など電波障害の起きる場所
- ◆テレビ、パソコン、ファックスなどの家電機器や、携帯電話などの通信機器、蛍光灯など照明器具の近く
- ◆金属面(床や壁)に接して設置した場合

この他に、雷や大気の状態などの天候・気象条件によって電波障害の起こるときは、受信機能が制限されて使用できない場合があります。このような場合は、深夜の時間帯や使用する場所を受信条件の良い場所に移動すれば通常の機能に戻り、自動修正機能が働くようになります。

受信しやすい方向

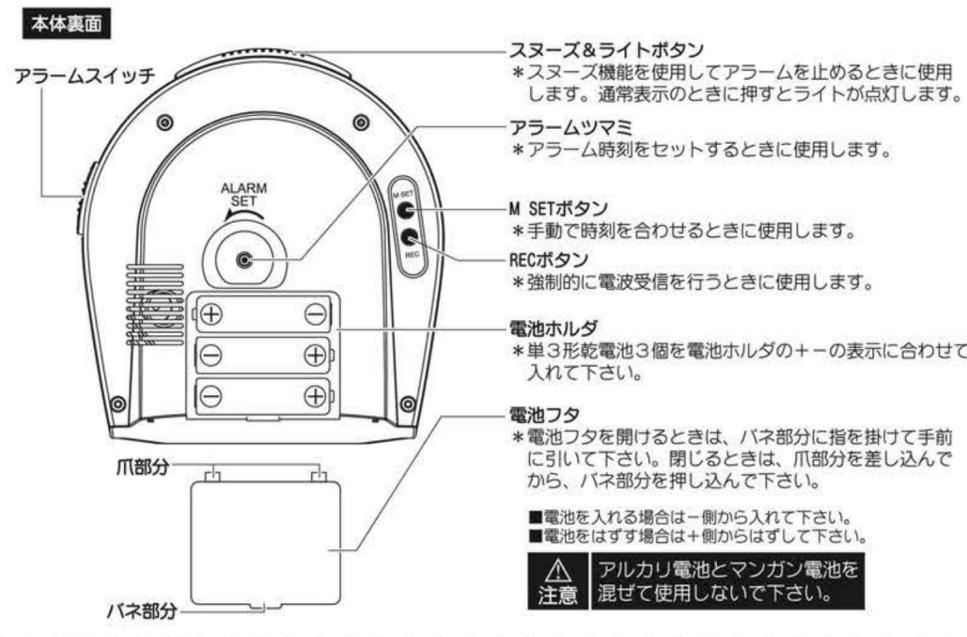
時計の正面または背面が、送信所に向かい合う位置に置くと受信状態が最も良くなります。



お手入れについて

●プラスチック枠をふくときは、水で薄めた中性洗剤を少量含ませた柔らかい布でふき、ふいた後にカラダキして下さい。木枠・金属枠の場合は柔らかい布でカラダキして下さい。
 ●ベンジン、アルコールなどの溶剤、ミガキ粉、ブラシは使わないで下さい。変色、変形の恐れがあります。

各部の名称 (時計により外観が異なりますが、操作方法は同じです)



手動による時刻設定の方法

※電波受信中(＝時分秒針の早回り中と12時位置で停止中)は、手動による時刻設定はできません。必ず通常の運針中に操作して下さい。誤動作の原因となります。

- 通常運針時に M SETボタンを3秒以上押し続けると、手動設定モードに入ります。
- ※手動設定モードに入ると、秒針が止まります。
- 手動設定モード中(秒針が停止中)に M SETボタンを1回押しごとに分針が1分ずつ進みます。M SETボタンを押し続けると早回りをし、放すと止まります。
- M SETボタンを放して8秒以上経過すると、秒針が動き出し、通常運針を始めます。

※手動で時刻を設定した場合は、内蔵されたスケジュールにより自動受信をしますので、受信できる状態になれば時刻を自動で修正します。

手動による時刻設定後の自動時刻修正について

手動で時刻を設定した場合、自動受信設定時間の時刻になると、初期受信の状態(針が12時位置まで早回りして一旦停止する)になります。このため手動で時刻設定した後受信できない場所で使用していると、設定した時刻を表示しない時間(約30分程度)が発生します。

※一度受信ができた後に、自動受信設定時間の時刻になった場合は通常運針の状態のまま受信を行います。

⑤ アラーム(目覚まし機能)の使い方

■アラーム時刻を合わせる
 本体裏面のアラームツマミを回してアラームを鳴らす時刻に合わせて下さい。



※ツマミは必ず指定の矢印の方向へ回して下さい。時計精度が狂うなどの故障の原因となります。

■アラームを鳴らす・止める



止めてもまた鳴るスヌーズ機能

■止めてもまた鳴るスヌーズ機能
 アラームが鳴っている間にスヌーズ&ライトボタンを押すとアラームが一息止まり、約5分後に再び鳴り出します。スヌーズ機能は約60分間繰り返して動作します。※アラームが再び鳴らないようにするには、アラームスイッチをOFFの位置にします。

その他

■ライト機能
 スヌーズ&ライトボタンを押すとライトが点灯します。※アラームの鳴り始めに約3秒ライトが点灯します。

■自動受信動作(スケジュール)について
 本製品は、1日に7回の電波受信を自動的に行います。

■電池交換について

- 電池を電池ホルダから取り外し、再挿入する際は、60秒待って下さい。
- 電池は必ず指定の乾電池を使用して下さい。
- アルカリ電池とマンガン電池を混ぜて使用しないで下さい。
- 電池交換の際は必ず、3本一緒に同じ種類の新しいものと交換して下さい。
- 長期間使用しない場合は電池を電池ホルダからはずして下さい。

電波受信ができなかった場合は・・・

■再度受信をさせる

通常の運針が始まった後に、RECボタンを3秒間押しして下さい。時・分・秒針がそのままの位置で停止し、再度電波受信状態となります。※電池を入れた直後の電波受信以外は、電波受信状態でも時計内部で時間を計測している為、受信できなかった場合は、受信中の経過時間を加えた位置まで針が進み、通常運針を始めます。※電波受信中はRECボタンを操作しないで下さい。誤動作の原因となります。

■一風夜そのままにして様子を見る

夜間は比較的电波の状況が良くなりますので、受信する可能性が高くなります。※初期受信ができなかった場合は、時計内部にあらかじめ設定された時刻になると、自動で受信を始めます。

■設置場所を変えてみる

設置場所を変えて、再度受信をさせて下さい。※設置場所を変える場合は、本取扱説明書の【電波受信について】を参照して下さい。

■手動で時刻を設定する

【手動による時刻設定の方法】を読んで、時刻を手動で合わせて下さい。

■故障かな?と思ったときは・・・

製品が正常に動作していないときは、修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

症状	考えられる原因	処置
時計が動かない	受信の準備中または受信中	停止は最長で17分間ですしばらく様子を見て下さい
ライトが点かない	電池が正しい向きで入っていない	電池の＋の向きを確かめて入れなおして下さい
	電池端子の接触が悪い	端子の金属の表面を拭いて電池を入れなおして下さい
時計が止まるまたは遅れる	電池容量が少ない	指定の新しい電池と交換して下さい
アラーム音が小さい、または鳴らない		
ライトが暗い		
スヌーズが機能しない		
針が早回りしている	受信の準備中または受信後の時刻修正中	自動時刻修正中ですしばらく様子を見て下さい

■操作(設定)中に不明な点が出てきた場合は

●電池を電池ホルダから取り外し、60秒待った後に電池を再挿入して始めからやり直して下さい。